

総務省の取組

令和2年4月

情報活用支援室

目 次

○はじめに

1 教育ICT推進に向けた全体像

○学びの先端技術の活用

2 地域ICTクラブ

3 クラウドの利用

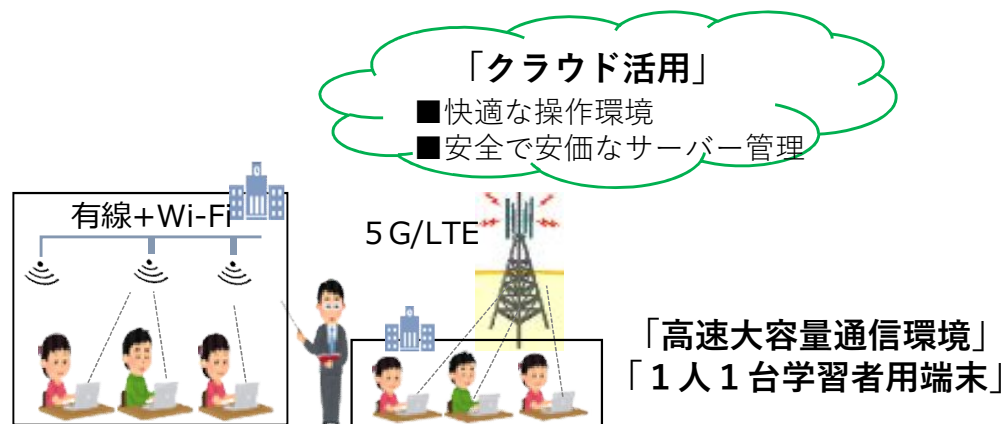
○学校ICT環境の基盤構築

4 教育現場の課題解決に向けたローカル 5 Gの 活用モデル構築

(参考) ポータル運営

1. 教育ICT推進に向けた全体像

学校ICT環境の基盤構築への支援策



文部科学省

- ◇1人1台学習者用端末の配備
- ◇学校内通信環境の整備

総務省

- ◇学校までの光ファイバの整備
- ◇5Gの活用モデル構築

学びの先端技術活用等への支援策



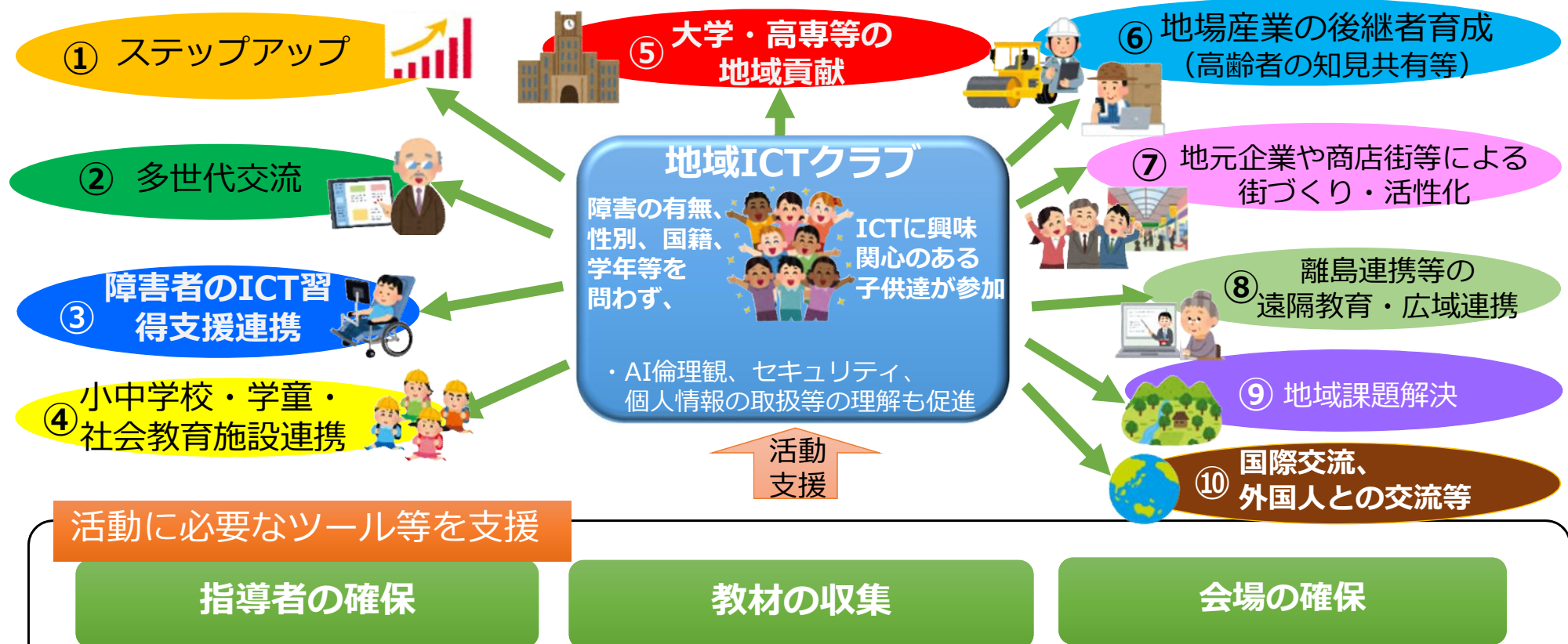
経済産業省

- ◇デジタル教材の開発・普及

総務省

- ◇学校/地域での校務・学習のデータ連携
- ◇地域ICTクラブの普及促進

- 「地域ICTクラブ」は、地域で子供たちが住民とモノづくりやデザイン等をテーマに、**プログラミング等ICT活用スキル**を学び合う中で、**世代を超えて知識・経験を共有する機会を提供するもの**
(参考) プログラミングを通じて、あらゆる分野でコンピューターが機能していることはもとより、現代社会の基盤となるシステムを学ぶ機会とすることを目的とする
- これまで、地域特性を活かしながら、様々なタイプの**モデル実証**を実施
- 今後、**地域の実情を踏まえながら、学校教育を補完するものとして更なる普及促進を図る方向**



実施地域一覧（令和元年度）

4

【凡例】

【通し番号】提案者（協議会）

- 1) 実施地域
- 2) 概要

- 1 ステップアップ（TOP人材育成）
- 2 多世代交流
- 3 障害者のICT習得支援連携
- 4 小中学校・学童・社会教育施設連携
- 5 大学・高専等の地域貢献
- 6 地場産業の後継者育成
- 7 地元企業や商店街等による街づくり・活性化
- 8 離島連携等の遠隔教育・広域連携
- 9 地域課題解決
- 10 国際交流、外国人との交流等

都道府県を越える広域モデル

【16】クラスジャパン地域ICTクラブ「元気学校」推進協議会

- 1) 東京都豊島区、東京都渋谷区、大阪府八尾市、愛知県名古屋市中区、鹿児島県鹿児島市
- 2) 他地域のフリースクールとネットワーク上で共同作業に取り組むオンライン型モデル。

【17】ジュニアビレッジ運営協議会

- 1) 静岡県菊川市、千葉県柏市、神奈川県横浜須賀町
- 2) 農業×ICTの人材育成モデル。

【12】あきたかたSTREAM教育フォーラム

- 1) 安芸高田市
- 2) 動画教材を活用してメンターの負担を軽減する中山間地域型モデル。

【2】秋田県地域ICTクラブ推進協議会

- 1) 湯沢市、東成瀬村、大仙市、横手市
- 2) 産官学連携して、同一教材で県内広域に展開する広域連携モデル。

【7】とやま地域ICTクラブ推進協議会

- 1) 富山市、滑川市、高岡市
- 2) 協働とインクルーシブな活動×ICT支援員モデル。

【8】郡上市地域ICTクラブ協議会

- 1) 郡上市
- 2) 複数地域をオンラインで結び同時活動する遠隔活動モデル。

【1】くしろICityクラブ推進協議会

- 1) 釧路市
- 2) 地域学校協働本部を中心としたステップアップ型モデル。

【3】みやぎ三世代プログラミング協議会

- 1) 仙台市
- 2) 障害者アートに息を吹き込む児童・障害者・高齢者交流モデル。

【4】いばらきICTクラブ

- 1) 茨城県、牛久市、つくば市
- 2) コミュニケーションロボットを使った障害児を含む他地域間交流モデル。

【5】中二小プログラミング学習クラブ協議会

- 1) 愛川町
- 2) 世界大会を目指すトップ人材育成モデル。

【14】熊本市防災ICT人材育成協議会

- 1) 熊本市
- 2) 「防災」をキーワードに地域の力を結集する地域課題解決型モデル。

【9】ICT Gift協議会

- 1) 東海市、名古屋市東区
- 2) 留学生メンターと外国籍児童、障害のある児童と一緒に楽しむ共生社会モデル。

【6】たかぎICTクラブ

- 1) 喬木村
- 2) スポーツクラブの一部としての地域ICTクラブモデル。

【15】おきなわICTクラブ運営協議会

- 1) 沖縄市、宜野湾市
- 2) こどもの居場所づくりと連携し、STEM教育を展開する地域ICTクラブモデル。

【13】高知ICTクラブ推進協議会

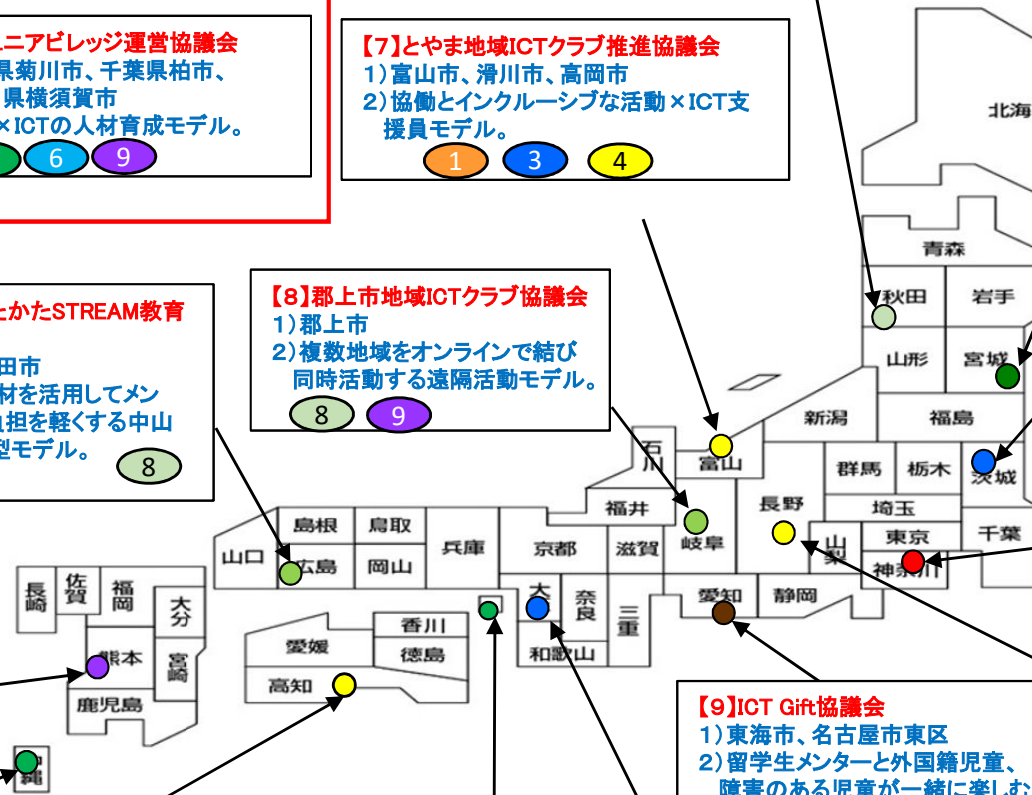
- 1) 高知県
- 2) 科学館と高専との連携を中心とした新しいIoT人材育成モデル。

【11】淡路市ICTクラブ協議会

- 1) 淡路市
- 2) 多彩な講座を地域全体で楽しむ世代間交流モデル。

【10】東大阪モノづくりICTクラブ協議会

- 1) 東大阪市、大阪市住之江区
- 2) ものづくり×ICTの地場産業の後継者育成モデル。



ガイドラインの目的

これまでの実証事業の結果から得られた知見やノウハウ等を広く共有し、今後の地域ICTクラブの設立や継続的な運営の参考としてもらうことにより、地域ICTクラブの普及展開を推進。

ガイドラインの概要

○趣旨・位置づけ

○地域ICTクラブの設立に関する検討事項

1. 目的の設定
2. 地域ICTクラブの設立
3. メンターの確保等
4. 講座の設計・運営
5. 継続可能な運営のあり方
6. タイプ別留意事項

3. クラウドの利用 ～1人1台学習者用端末の配備と関連して～

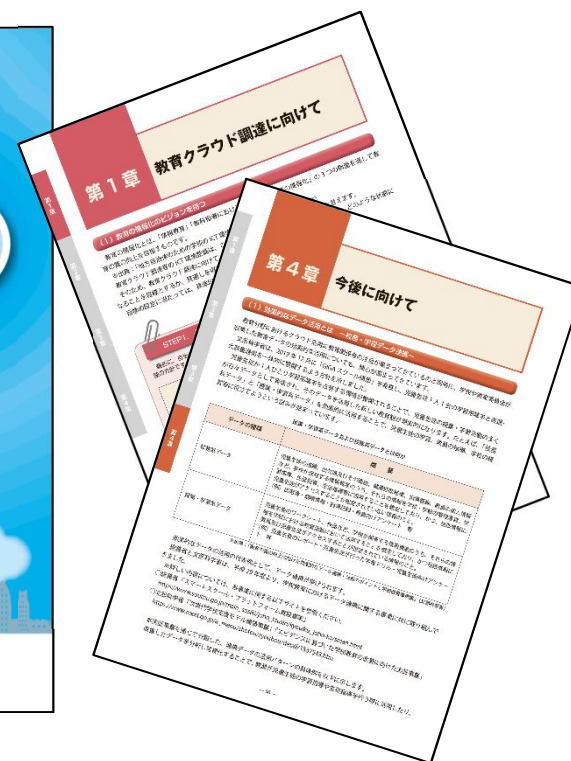
- 全国で児童生徒1人1台の学習用端末の配備に伴い、クラウドが提供する様々なアプリケーションやコンテンツを活用することが教育上有効な面もある。
- これにより、一斉一律の授業スタイルから抜け出し、読解力・論述力の習得や習熟度に応じた主体的・協働的な深い学びの提供、データに基づく教育指導が広がる可能性もある。
- また、クラウドは、これまで校内にサーバを置き維持運用するオンプレミス型と異なり、メンテナンス事務が縮減し、教職員の業務負担軽減に資する面もあると言われている。
- そこで、教育現場でのクラウド環境の調達促進に向け、ガイドブックを作成・提供する予定。

「教育クラウド調達ガイドブック（本編）」

- 第1章 教育クラウド調達に向けて
- 第2章 授業・学習系システムにおけるクラウド活用
- 第3章 校務系システムにおけるクラウド活用
- 第4章 今後に向けて

「教育クラウド調達ガイドブック（参考編）」

- 参考1 クラウドサービスとは
- 参考2 教育情報セキュリティの基本
- 参考3 クラウドサービス利用におけるセキュリティ確保の考え方
- 参考4 クラウド利用型システムにおけるセキュリティ対策の考え方
- 参考5 クラウド利用に関連する法制度
- 参考6 クラウド活用効果検証例



4. 教育現場の課題解決に向けたローカル5Gの活用モデル構築

<概要>

令和元年度補正予算：2.4億円

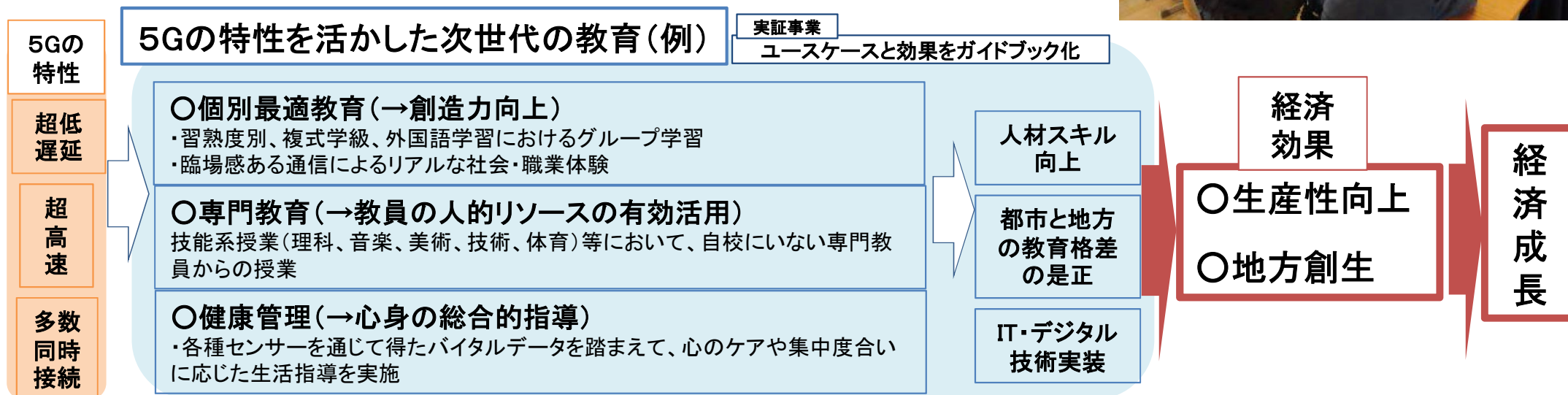
- ・ オリ・パラの先にある日本の姿も見据え、ICT・デジタル技術(5G)を通じて、未来を担う創造的な人材育成による生産性向上と、地方創生に資する教育環境の充実を図るために、地域の教育現場において、地方自治体等が自らの建物・敷地内で柔軟に構築できるローカル5Gの活用モデルの構築を行う。
- ・ 具体的には、ローカル5G基地局を設置することで教育現場における5G利用環境を構築し、5Gの特性（超高速、超低遅延、多数同時接続）を活かした活用モデルの構築（実証）を行う。

(参考：ローカル5G)

ローカル5Gは、自治体等が自らの敷地・建物内に5Gの通信網を自前で構築することを可能とするもの。これにより、商用基地局がない場所でも需要に応じた利用が可能となり、あわせて機能のカスタマイズ化も可能。



<事業成果のイメージ>



(参考) ポータル運営

- 今年度より、「プログラミング教育ポータル」のHP技術的管理について、総務省から文部科学省へ移管

